

<h1 style="margin: 0;">北方領土ワークシート①</h1>	高等学校 年 組 番 氏名 <span style="color: red; font-weight: bold;">解答</span>
---	---

○次の年表を見て、昭和20（1945）年に、ソ連軍が北方領土に進攻したルートと月日を → を使って白地図に表そう。

〈年表〉

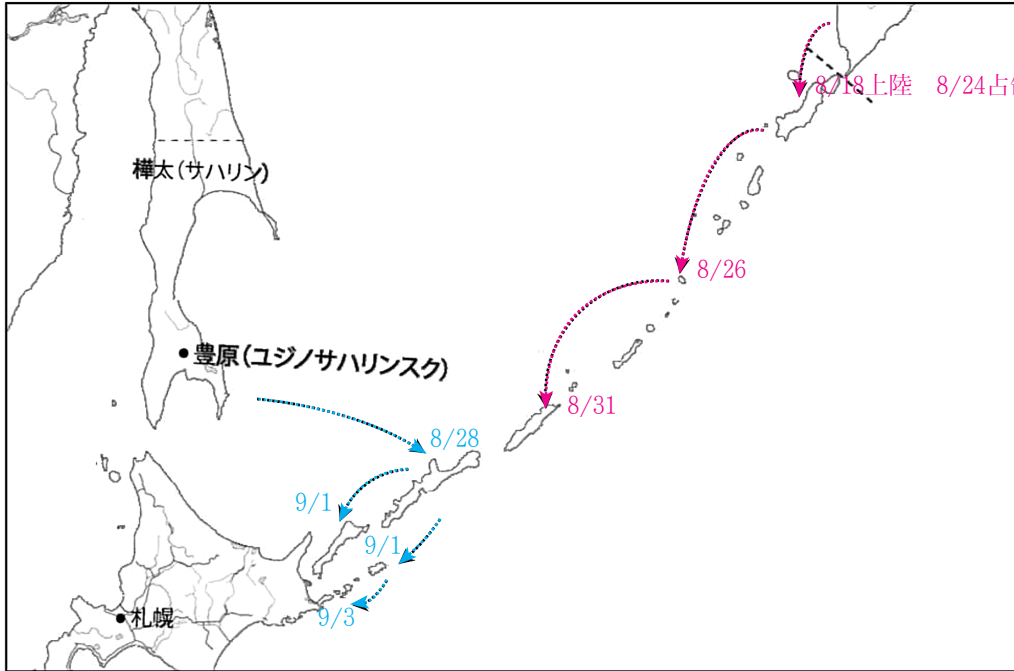
カムチャッカ半島から進出したソ連軍による千島列島占領（赤い線で書こう）

樺太（サハリン）から進出したソ連軍による北方領土占領（青い線で書こう）

8月15日	日本がポツダム宣言受諾を 発表
8月18日	占守島 <small>しゅむしゅ</small> にソ連軍上陸
8月24日	占守島を占領
8月26日	松輪島 <small>まつわ</small> を占領
8月31日	得撫島 <small>うるっぷ</small> を占領

8月28日	択捉島上陸
9月 1日	国後島、色丹島上陸
9月 2日	日本が降伏文書に調印
9月 3日	歯舞群島上陸
以後、9月5日までに北方領土の占領を完了	

〈白地図〉



○考察 ソ連軍の侵攻ルートや月日を見て、気づいたことを書こう。

千島列島、北方領土ともに日本がポツダム宣言受諾を宣言した8月15日以降にソ連の侵攻が始まり、北方領土がすべて占領されたのは日本が降伏文書に調印した後のことである。

高等学校

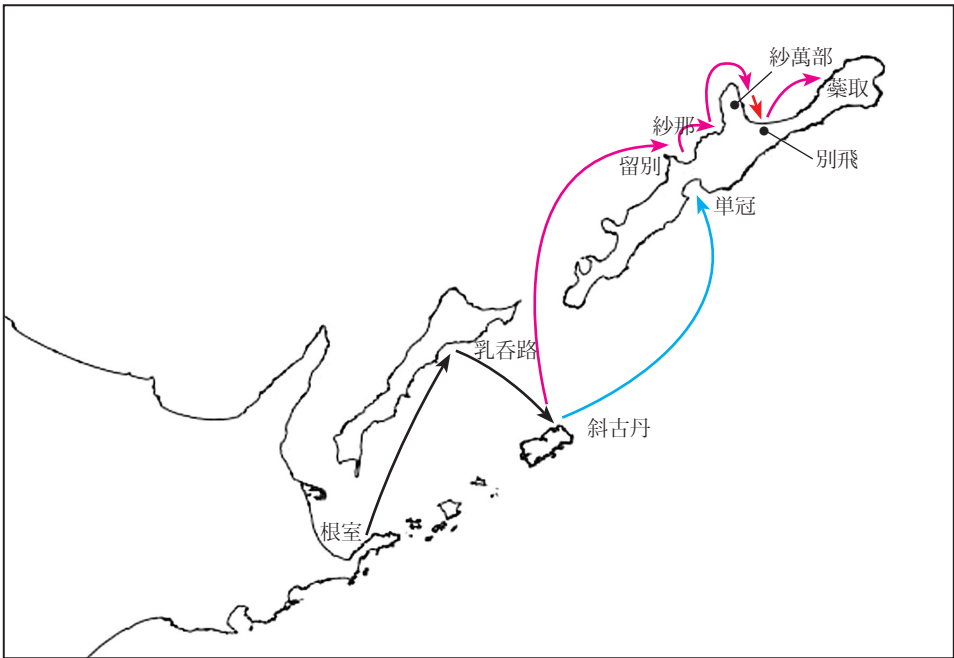
# 北方領土ワークシート②

年 組 番 氏名 解答

○次の表は、昭和8（1933）年に北海道根室と北方四島を結んでいた定期便の、月ごとのおよその便数と、おもな便がそれぞれの港へ寄港する月日を表したものです。表を見て、夏季と冬季の航路を、それぞれ白地図に書き込もう。

	便数	根室	ちのみじ乳呑路	しゃこたん斜古丹	るべつ留別	しゃな紗那	しゃまんべ紗萬部	べつとぶ別飛	しべとろ薬取	ひとかっぱ単冠
1月～3月	月1便	2/14	2/14	2/15	—	—	—	—	—	2/16
5月～11月	月5便	6/20	6/20	6/21	6/22	6/22	6/22	6/22	6/22	—
12月	月3便	12/8	12/8	12/9	—	—	—	—	—	12/10

〈白地図〉



○考察 夏季と冬季の航路にはどのような違いがあるか、またどうしてそのような違いが生じるのか。オホーツク海の冬季の様子も触れて書こう。

夏季に比べ冬季は船の便数が少ない。また、夏季は島の北側の港を経由するのに対し、冬季は南側の港にしか寄港していない。冬季は流水の影響で島の北側(オホーツク海側)を航行するのが困難であるからだと考えられる。

高等学校
<b>北方領土ワークシート③</b>
年 組 番 氏名 <span style="float: right; color: red;">解答</span>

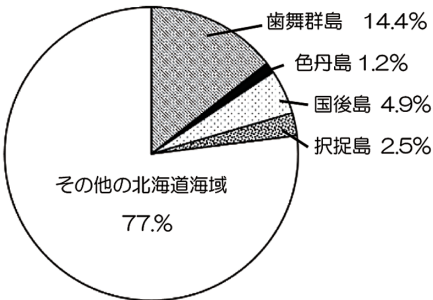
○次は、北海道町村別漁獲高順位を表した表と、北海道地方全体の水揚高を表した円グラフです。

資料を見て、北方領土の水産業の特徴をまとめよう。

北海道町村別漁獲高順位（昭和13年）

順位	町村名	漁獲高（万円）	内訳
1位	函舞村	294.2	その他、コンブ
6位	薬取村（択捉）	142.3	カニ、マス
19位	泊村（国後）	74.0	貝
26位	色丹村（色丹）	62.5	タラ
33位	紗那村（択捉）	56.5	サケ、海藻
54位	留夜別村（国後）	38.4	
78位	留別村（択捉）	20.5	

北海道地方全体の水揚高（昭和15年頃） ○考察 北方領土の水産業にはどのような特徴があるか、資料をもとにまとめよう



北方領土ではコンブやマスなど、島ごとにさまざまな種類の産物が生産されている。また、水揚高は北海道地方全体の4分の1を占めており、水産業がとても盛んである。

### 北方領土の産業と埼玉県

深谷市稲荷町で海産物を商っていた永徳屋商店は、大正から昭和初期にかけて、北海道や北方領土の海産物を大量に仕入れ、中部地方から関東及び東北地方にまで、広く売りさばっていました。

主な海産物は、さけやますを新巻にしたものですが、そのほかにみがきにしんや酢だこなども扱いました。買いつけには択捉島まで行ったそうですが、販売に関しては函館水産販売会社をとおして行っていました。永徳屋商店の買いつけは、北海道の海産物の相場が変動したほど多かったといわれ、多いときは、貨車全車両に積み込んで来たとのことでした。

永徳屋商店を経営していた安部彦平は地域経済の発展に力を入れ、「深谷ねぎ」の名付け親であると言われていています。のちに深谷市初代市長を務めました。

<h1 style="margin: 0;">北方領土ワークシート④</h1>	高等学校 年 組 番 氏名 <span style="color: pink;">解答</span>
---	---

○次の資料は、昭和13（1938）年における択捉島のおもな集落の人口をまとめた表と、人口の多い4つの集落の位置を示した地図です。  
 人口の多い集落はどのような場所に立地しているか、その特徴を読み取ろう。

集落名	しゃな 紗那	るべつ 留別	しべとろ 薬取	べつとぶ 別飛	としもえ 年萌	なよか 内岡	いりりぶし 入里節	ないぼ 内保
人口（人）	774	663	571	454	252	248	247	201



(地理院地図)

○考察 人口の多い集落はどのような場所に立地しているか、その特徴を読み取ろう。

人口の多い集落は、海が湾になっている、川の河口付近に位置している。このような場所には集落を形成しやすい平坦な土地があること、船を利用した水産業などが発展しやすいことが理由であると考えられる。